

令和8年度 シラバス

教科	家庭	科目	保育基礎	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	実教出版 保育基礎					
学習の到達目標	保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付け、保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。 子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組む、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。			
評価の方法	上記の3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 子どもの保育 保育の意義 保育の方法 保育の環境		・保育の意義と重要性について、保育が人間形成にどのようなかわるかを考える。 ・保育者観についての考察を深める。 ・子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。			
中期	2 子どもの発達 子どもの発達の特性 子どものからだの発達 子どもの心の発達		・乳幼児期は人の発育・発達において共通性や個別性といった特性があることを理解する。 ・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴を理解する。 ・心の発達土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。			
	3 子どもの文化 子どもの文化の意義と支える場 子どもの遊びと表現活動		・子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義を考える。 ・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義重要性等を、具体的に遊具をつくるなどの活動を通じて理解する。			
後期	3 子どもの文化 子どもの遊びと表現方法		・子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身に付けている。			
後期	4 子どもの生活 子供生活と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止		・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身に付ける。 ・子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。			
	5 子どもの福祉 子ども観 子どもの福祉 子育て支援		・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ・児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。			